

令和 7 年度 指定管理者事業報告概要及び評価（案）

報告期間：令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日

施設名	大和市柳橋ふれあいプラザ
指定管理者	シンコースポーツ株式会社 代表取締役社長 石崎 健太
指定期間	令和 3 年 4 月 1 日 ～ 令和 8 年 3 月 31 日

1. 事業報告概要

(1) 業務実施状況

・施設の運営

開館状況：毎週月曜日、月曜日が国民の祝日に関する法律に規定する休日に当たるときは当該日の直後の休日でない日、年末年始(12 月 29 日～1 月 3 日)及び施設点検日を除く毎日。

- ・浴室は、利用者の健康面、衛生面、安全面を考慮し、前年同様 50 分入浴・10 人利用のルールを継続しており、利用者の理解も得られています

開館日数：304 日（令和 6 年度開館日数 304 日）

開館時間：午前 10 時～午後 9 時

・施設使用の受付

年間使用者数

	令和 7 年度	令和 6 年度	増減
総使用者数	51,009 人	50,022 人	+987 人
浴室使用者数	32,612 人	32,175 人	+437 人

新規登録者：279 人（令和 6 年度 420 人）

会議室等使用者数：9,413 人（令和 6 年度 8,857 人）

・施設の補修、改善

脱衣所ロッカーの蝶番修理、扇風機修理、水漏れのためシャワーエルボー交換修理、第 1 集会室長机修理など、不具合箇所の修理を行いました。（また、市でも、浴槽ろ過装置の塩素滅菌ポンプ及びタンク交換修理を行いました。）

・利用者へのサービス

浴室岩風呂、洗い場周りの滑りやすい箇所にマットを設置しました。また、浴室利用のマナーについて POP を作成・掲示することで、快適な利用環境を確保しました。

・衛生管理対策

トレーニング室にペーパータオルとアルコールを設置し、利用者の方に随時消毒を実施していただきました。

・自主事業の実施

令和 7 年度は、事業計画に沿ってイベントや教室を開催することができました。

「夏まつり」は様々なゲームを実施し、飲み物も販売しました。運営に際しては、高齢者の方が多いことに留意し、衛生面と安全面に配慮しました。

ワンコインレッスン（500 円）については、広報紙やホームページに掲載することでミ

ドル～シニア世代を中心とした健康志向の高い方等に働きかけ、施設利用者の増に努めました。

浴室事業として、5 月には菖蒲湯、12 月にはゆず湯を開催し、利用者の方に大変喜んでいただきました。

12 月は今年で 4 回目となる大和南高校吹奏楽部によるクリスマスコンサートを開催し、多くの方から喜びの声をいただきました。

3 月の感謝DAYでは、利用者の方にヤマトンオリジナルタオルを 100 枚配布し、日ごろの感謝を伝えることができました。

トレーニング室のご利用については、初めての方には初回講習を行い、利用方法の説明や適切な運動指導を行いました。10 月からはスポーツの秋運動キャンペーンとしてスタンプカードを配布し、利用者の定着・増加を図りました。

() は、令和 6 年度実績

事業名	目的・教室名	開催日	参加者数
マシン／ラウンドフィットネス 1 回 200 円	・幅広い年代の運動推進 ・健康寿命の向上 ・生活習慣病予防	火～日 10:00～ 20:00	1,721 人 (1,957 人)
ワンコインレッスン 定員 24 名 1 回 500 円	(継続) ピラティス、のびのびストレッチ、アンチエイジングエクササイズ 健康体操	火 水 土 175 教室 (187 教室)	1,145 人 (1,318 人)
合 計			2,866 人 (3,275 人)

(2)事業実施状況に関する補足説明

- ・年間総使用者数は前年度に比べて 987 人(約 2.0%)増加しました。
一日あたりの平均総使用者数は 168 名であり前年度に比べ 3 名増加しました。
- ・浴室使用者数は、前年度に比べ 437 名(約 1.4%)増加しました。浴室の 1 日あたりの平均使用者数は約 107 名で、前年度に比べ 1 名増加しました。

2. 収支決算概要 () は、令和 6 年度決算額

(単位：円)

収 入		支 出	
指定管理料 ※ (市が指定管理者に支払った金額)	17,300,000 (17,300,000)	人 件 費 (指定管理者が雇用した社員の給料、諸手当、福利厚生費等の金額)	14,564,752 (15,410,850)
そ の 他	0 (0)	施設管理費等 (施設の保守点検費、修繕費等)	2,732,230 (3,023,834)
自主事業による収入	1,083,150 (1,290,769)	自主事業による経費	1,583,911 (1,199,314)
収入計 (①)	18,383,150 (18,590,769)	支出計 (②)	18,880,893 (19,633,998)
収支決算	▲497,743 (▲1,043,229)		

(1)収支決算に関する補足説明

- ・自主事業については、広報活動に注力し、利用者へのサービス向上にも努めましたが、物価高騰などの影響により、支出が 500,761 円上回る結果となりました。

※ 施設使用料について

- ・市の歳入になるため上記の指定管理料には含まれませんが、施設使用料の収入総額は 2,180,750 円となり、前年度の 2,072,000 円に比べ 108,750 円(約 5.2%)の増収となりました。

3. 管理運営に対する評価等

指定管理者の管理運営に対する市の評価は次のとおりです。

評価にあたっては、令和 8 年 7 月 21 日に環境審議会からの意見聴取を行います。

評価の視点 1：施設を利用する者に対し、平等な利用の確保及びサービスの向上が図られたか
・高齢の方など施設利用に配慮を要する人に対して細やかな対応がされており、平等な利用の確保及びサービス提供がなされていました。 ・使用者の要望を日頃からこまめに聞き取り、要望に応じた取り組みを行ったほか、使用者へのアンケートを実施し、その意見を事業に取り入れるなどサービスの向上に努めていました。
評価の視点 2：施設の効用が最大限に発揮された事業運営が行われたか
・ごみ処理施設に併設されている施設として、ごみ削減や資源有効活用を考える契機となるようリサイクル本のコーナーを設置しています。また、クリスマスには近隣の保育園に協力をお願いし、毎年工夫を凝らした「エコツリー」を作成するなど啓発に努めていました。このエコツリーは、ペットボトルの上部をカットして作成した“ベル”に園児たちがカラフルな折り紙やシールで装飾をしてツリーに飾り付けており、自分が作ったペットボトルのベルを見つけた園児が喜んでいました。 ・12月にはキャパシティのある第1集会室にて、大和南高校吹奏楽部によるクリスマスコンサートを開催しました。利用者からは、生の迫力ある演奏を聴くことができ「元気が出た」などの声をいただいていた。 ・最も利用の多い浴室イベントとして、5月に菖蒲湯、12月にゆず湯を開催し、多くの方に喜ばれました。 ・このほかにも夏まつりや野菜販売、羽子板づくり教室、感謝 DAY を開催するなど、地域の方々の交流の場となるような事業を実施していました。 ・今後も、施設の設置目的を踏まえ、市民の健康増進、福祉、交流活動に貢献するコミュニティ施設としての事業運営に期待します。
評価の視点 3：施設の適切な維持及び管理が図られたか
・施設の管理、保守点検等は仕様書に沿って適切に行われています。 ・浴室については、定期的な水質検査等を実施し、衛生面の管理を適正に行っています。 ・使用頻度の高い設備や器具は常に点検を行い、メンテナンスが行われています。また、施設利用後の消毒を徹底するなど衛生面にも配慮しています。 ・節水や節電、資源の分別に取り組むとともに、掲示物などで利用者に対しても環境負荷低減の周知を図っています。

評価の視点4：施設の管理を安定して行う人員、資産その他の経営の規模及び能力を有しているか

- ・ 高齢者の利用が多いことから、浴室使用者には受付窓口での声掛けや掲示物等での注意喚起、館内に設置した血圧計の利用促進など、浴室内での巡視に合わせた使用者への声掛けが求められますが、適切な人員配置を行うことによって、利用者の安全確保に努めています。
- ・ 上級救命、AED、救急講習などを受講した従業員を配置するとともに、消防訓練や救命講習などに積極的に参加しています。また、館内の非常設備や AED、非常用ブザー等の点検を毎月行い、緊急時に迅速かつ適切に対応できる体制づくりに努めています。
- ・ 指定管理者独自の社員研修を実施するなど適正な研修体制が確保されています。
- ・ シンコースポーツ(株)は全国 571 施設、135 自治体の施設の管理運営の受託実績を有しているほか、経済産業省による「健康経営優良法人」やスポーツ庁による「スポーツエールカンパニー」の認証を受けており、管理運営を安定的に行う上で概ね健全な経営状況にあると判断します。また、指定管理者である本社経理部門の内部監査員による定期監査も実施されており、適正な管理を行っています。